

用語解説

用語	解説	頁
RPA	RPA (Robotic Process Automation) : これまで人間のみが対応可能と想定されていた定型作業、もしくはより高度な作業を、ロボットで自動化すること。	32,50,116
IR	IR (Integrated Resort) : 統合型リゾート。カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設等が一体となった複合観光施設。	1,33,96
IoT	IoT (Internet of Things) : モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、多種多様な「モノ」に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。	6
ICT	ICT (Information and Communication Technology) : 情報通信技術の総称。以前は、IT (Information Technology) という言葉が一般に用いられていたが、ITに「コミュニケーション」を加えたICTの方が国際的には定着している。	6,32,36,49,50,61,90,116,117,118
アウトソーシング	地方自治体の業務を外部委託し、民間のノウハウを活用して、町民サービスの向上、自治体業務の効率化、地域の企業・市民活動の活性化を図る取組。	51
アジェンダ	将来実現可能な目標を明記した行動計画。特に法人や国際機関などの組織が使う。	2
いきいきサロン	地域に住む高齢者の閉じこもり予防や交流を目的に、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動。地域住民グループにより、身近で気軽に集える場所で月1回以上運営されている。	140
イノベーション	これまでのモノ・仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。	4,6,151
ウェザーフィールド町	アメリカ合衆国コネチカット州中心部に位置する人口約2万6千人の町で州都ハートフォード市のベッドタウン。平成9年に本町と姉妹都市締結。	72
AI	AI (Artificial Intelligence) : 人工知能。知的な機械、特に知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術。「コンピュータによって実現する知的な活動」や「人の知的な振る舞いを模倣するコンピュータシステム」とも言われる。	6,32,50,116
SNS	SNS (Social Networking Service) : インターネットを通じて人と人との繋がりを促進し、コミュニティの形成を支援するサービス。	38,46,48,50,51,63,90,116,118
NGO	NGO (Non-Governmental Organization) : 非政府組織。貧困、飢餓、環境など、世界的な問題に対して、民間の立場から、国境や民族、宗教の壁を越え、利益を目的とせずこれらの問題に取り組む団体。	2,5
NPO	NPO (Non-Profit Organization) : 非営利組織。各地域のニーズや社会問題を解決しようと活動する営利を目的としない団体。	2,5,24,38,43,48
オアシス運動	(オ) おはようございます、(ア) ありがとうございます、(シ) 失礼します、(ス) すみません、という基本的な挨拶をまず身につけるという取組。	64
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用できるような形で公開されたデータ。	116
介護予防	高齢者が要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減、悪化の防止を目的として行うもので、単に心身機能の改善だけではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人一人の生きがいや自己実現のための取組を支援し、生活の質の向上を目指すもの。	37,38,127,128,139,140,146
海底耕うん	海底の堆積物をかくはんし、底質環境を改善しようとする。泥中に酸素が供給され、生物の生息環境を良好に保つことができる。	88
関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。	25,34,97,98,152
間伐	育成する樹木の一部を間引きし、残存木の成長を促進する作業。	86
教育ファーム	家畜や農作物の飼育・栽培過程を見たり体験したりして、農業や自然・環境問題・生命・労働などを学ぶことができる農場・農園・圃場・牧場のこと。	83
業務継続計画 (BCP)	BCP (Business Continuity Plan) : テロや災害、システム障害発生時など人・モノ・情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画。	117,118
グリーンベルト	歩道を整備しにくい狭い道路の路側帯を緑色にカラー化し、通行する車両に対して視覚的に注意を促すことで、歩行者との接触事故を防ぐなど歩行者の安全対策として実施するもの。	112
軽スポーツ	他のスポーツに比べて比較的負荷のかからないスポーツのこと。	68
健康格差	年齢、体質などの個人の特性だけでなく、生育、居住、就労等、各人の置かれた社会経済的状態の違いにより起こる健康状態の差。	127
健康寿命	一生のうち、認知症や寝たきりにならず元気に過ごせる期間。平均寿命から寝たきりや認知症など要介護状態の期間を差し引いたもの。	37,68,127,128
健全化判断比率	地方自治体の財政状況の悪化を早期に把握し、財政を健全化させることを目的として、平成19年度決算から算定と公表が義務づけられた指標。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の4つの比率から成る。	53,54
県立大学情報セキュリティ産学共同研究センター (仮称)	長崎県立大学シーボルト校に設置が予定されている、大学・学生と企業の共同研究の場。	32,100,116
広域連合	地方公共団体が、広域にわたり処理することが適当であると認められる事務を処理するために設ける特別地方公共団体。	49

用語	解説	頁
公共施設等総合管理計画	地方公共団体が所有する公共施設等を対象とした、施設整備や維持管理等に係る方針を示す総合的な計画。	54
口腔ケア	口の中を清潔に保ったり、機能訓練を行うことで、口腔内だけでなく体全体の健康を保つケア。	127,129
合計特殊出生率	15歳から49歳の女性の年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを産むかを表す。	36,135,136
高等技術専門学校	各都道府県が職業能力開発促進法に基づいて設置している就職・再就職のための職業訓練を目的とした教育機関。	23,44,66
高度処理	通常の下水処理よりも、水の汚れの原因となる有機物や富栄養化の原因となる窒素やリン等をより多く取り除く処理。	109,110
後発医薬品	医師の処方が必要とする医療用医薬品のうち、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後、開発メーカーとは別のメーカーが製造販売する医薬品。ジェネリック医薬品ともいう。	146
コーディネーター	いろいろな要素を統合したり調整したりして、ひとつにまとめ上げる役目。	60
国土強靱化計画	「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」第13条に基づき、都道府県又は市町村の区域において策定する計画。「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築を目的とする。	118
国民保護計画	国民保護法に基づき、外国からの武力攻撃やテロが発生した場合の国民の「避難」「救援」「被害の最小化」について各自治体で作る計画のこと。	119
ココロねっこ運動	子どもたちの心のねっこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる県民運動。長崎県子育て条例第22条に明記されている。	64
子育て支援センター	乳幼児と親が気軽に集まって自由に遊んだり、育児相談等を行うことができる場所。妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応し、地域の保健医療・福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。	36,57,137
子育て世代包括支援センター	妊娠期から出産、子育て期にわたる子育て全般のワンストップ総合相談窓口として設置。保健・保育・福祉・教育その他の子育て支援を円滑に利用できるよう必要な支援を行う。	35,136
子ども110番（の家・車）	登下校中の子どもたちを地域の大人たちで見守り、犯罪に巻き込まれることを未然に防ぐ、地域全体で子どもたちを守る取組。	124
子ども家庭総合支援拠点	町内に所在する全ての子どもとその家庭及び妊産婦等を対象とし、その福祉に関し、必要な支援に係る業務を行い、特に要支援児童及び要保護児童等への支援業務の強化を図る場所。	136
コミュニティ交通	交通空白地域・不便地域の解消を図るため、地方自治体、地域住民が主体的に取り組む生活移動手段の確保を目的とした交通。	113,114
コミュニティスクール	学校、保護者、地域住民が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法（地教法第47条の5）に基づいた仕組み。	36,59,61,63,64,66
コミュニティバス	一定の地域内を、その地域の交通需要に合わせて運行するバス。小型バスで住宅地の内部まで入ったり、公共施設を結ぶなど、通常の路線バスではカバーしにくいき細かい需要に対応するためのもの。	114
サイクルツーリズム	「サイクリング・自転車」と「観光・旅行」を組み合わせたもので、自転車に乗りながら、地域の自然や地元の人々、食事や温泉といったあらゆる観光資源を五感で感じ、楽しむことを目的としたツーリズムのこと。	33,96
財政力指数	地方公共団体の財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して町税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は普通交付税が交付されない。	12
支えあい「ながよ」第2層協議体	住み慣れた地域での暮らしを継続していくため、住民自らが参加・協力し、相互の助け合い活動を目指し、町内5地区に分かれて情報交換や今後の課題について協議する場。	38,142
サテライトオフィス	企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れた所に設置されたオフィスのこと。支社・支店がその場所ではかできない仕事の場所であるのに対し、サテライトオフィスは本社以外でも働ける場所を作ることが目的。	32,34,100,116
サポカー補助金	満65歳以上の高齢運転者が対象の「対歩行者衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い急発進抑制装置を搭載する車（サポカー）」や「後付けのペダル踏み間違い急発進抑制装置」の購入等を支援する補助金。	122
3R	リデュース（Reduce廃棄物の発生抑制）、リユース（Reuse再使用）、リサイクル（Recycle再生利用、再資源化）の頭文字をとった言葉。資源の有効利用により、環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会を形成するための考え方である。	149,150
シーサイドストリート	長与町内を通る国道207号の、大村湾を望む風光明媚な道路を「シーサイドストリート」と称し、活用・PRを行っている。潮井崎公園や和三郎憩いの広場などのほか、みかん畑、オリーブ畑、カフェやレストラン、お土産処や立ち寄り湯等も点在している。	33,96
シーサイドマルシェ	シーサイドストリートや長与町の土産品・生産物等の周知及び交流人口の拡大を図るため、平成25年度から開催されているイベント。多数の店やブースが出店する。	33,96
市街化区域	都市計画法に定める都市計画区域のうち、既に市街地を形成している区域及び今後優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。	7,23
市街化調整区域	都市計画法に定める都市計画区域のうち、無秩序な市街化を防止し、市街化を抑制すべき区域として定める区域。	23
事業承継	現経営者から後継者へ事業のバトンタッチを行うこと。大きく分けて「親族内承継」「役員・従業員承継」「第三者承継」の3類型に区分される。	25,31,89,90,91,92,100
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度かを表す指標。	53,54
自主防災組織	自治会などを単位として、町民が自主的に連帯し、防災活動を行う組織。	117,119

か
行

さ
行

用語	解説	頁
実質赤字比率及び連結実質赤字比率	一般会計の赤字額及び全会計の赤字額が一年間の収入に対してどの程度かを示す指標。	53
シティプロモーション	都市の活性化促進のために、宣伝材料となる資源や魅力を確立し、それらを効果的に宣伝・広報するとともに、都市をPRすること。	95,96,152
姉妹都市	親善や文化交流を目的として特別の関係を結んだ都市。	72
事務事業評価	主に町民に対し、どのように成果をあげたのかという民間の経営の視点から行政が行う事務事業を評価し、その評価結果を行政経営に反映させ、町民の満足度を最大限に高めるための手法。	54
生涯活躍のまち	年齢や障がいの有無等を問わず、移住者や関係人口、地元住民等を対象とした誰もが居場所と役割を持つコミュニティづくりを目指すもの。	65,99,133
情報アクセシビリティ	高齢者・障がい者をはじめ、あらゆる人が、情報通信機器・ソフトウェア及びこれらによって実現されるサービスを支障なく操作又は利用できる機能を指す。	50
情報セキュリティ	災害による情報の消失、情報通信機能の停止、情報の盗難・紛失、第三者によるコンピュータへの侵入、コンピュータウイルス等の脅威から大切な情報を守ること。	116
情報リテラシー	情報機器やネットワークを活用し、情報やデータを取り扱う上で必要となる基本的な知識や能力のこと。	26,115,116
食育	子どもたちや消費者が、自分の食について自ら学び、考え、実践できるようになるよう支援すること。	60,127,129
食品ロス	本来食べられるのに捨てられてしまう食品。	150
新型インフルエンザ	毎年流行を繰り返す季節性インフルエンザウイルスと性質が異なるウイルスが突然変異により現れ、ほとんどの人が免疫を持たないため世界的な大流行を起こすインフルエンザ。およそ10年から40年の周期で発生している。	37,132
人権の花運動	学校に配布した花の種子・球根などを、子どもたちが協力し育てることによって生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的とした運動。	74
新興感染症	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症のように、最近新しく認知され、感染力の強さから公衆衛生上の問題や社会的影響が大きい感染症。	24,37,131,132
水源のかん養	森林の土壌がスポンジのような性質を持つために有する貯水や治水・ろ過などの機能のこと。	85,86
水道有収率	配水した水量のうち、料金徴収の対象となった水量が占める比率。漏水等により損失した水量が多いほど低下する。	108
スマート農業	ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業。	31,82
生活習慣病	生活習慣が原因で起こる疾患の総称。日本の三大死因である、ガン、脳血管疾患、心疾患や、重篤な疾患の要因となる動脈硬化症、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満症などが該当する。	26,127,128
性的マイノリティ	体の性と心の性が一致しない人や同性愛者、両性愛者などの性的少数者。	73
施策評価	総合計画に謳われた政策目標を具現化するための施策及び計画に設定した数値目標の進捗状況に関する評価。分析することで、まちづくりの進捗状況や課題の把握をするとともに、課題に応じた改善策の検討や限られた行政資源の選択と集中を進めることを目的として実施。	53,54
Society5.0	狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会。サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会を指す。	6,32,115,116
体験ペーロン	県外からの修学旅行生を対象としたペーロン保存会スタッフによる大村湾でのペーロン体験学習。自然との触れ合いや地元の人々との交流、連帯意識の醸成などを目的とする。	34,96
ダウンサイジング	規模を縮小すること。コストダウンや効率化のために小型化すること。	108
多面的機能支払	農業・農村は、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、それらを保全管理し、資源向上を図るための取組。	82
地域学校協働活動	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。	66
地区コミュニティ	町民が自主的に参加し、その総意と協力により、住みよい地域社会を構築することを目的として構成された集まりで、住みよいまちづくりを進めるための重要な基盤となるもの。本町では小学校区を基本に、5つの地区コミュニティ組織が設置されている。	37,38,45,46,63,123,124,152
地産地消	地域で生産された食材をその地域で消費すること。	83
チャレンジショップ	行政や商工会による起業を促す取組。将来、自分の店を出店したいと考えている店舗創業者や、新たにショップを開いてみたい事業者・グループのための期間限定ショップ。	31,89,90
中山間地域等直接支払	農業の生産条件が不利な地域（中山間地域）における農業生産活動を継続するため、行政による支援を行う制度。	82
DV	DV（Domestic Violence）：配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から受ける暴力。	78
データヘルス	医療保険者が、レセプト・健診情報等の電子的に保有された健康医療情報を活用・分析し、加入者の健康状態に即した効率的・効果的な保健事業を実施する取組。	145,146
テレワーク	ICT（情報通信技術）を活用して、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働くことができる新しい働き方。	32,34,100,116
電子図書館	インターネットを利用して、パソコンやスマートフォン・タブレット上で電子書籍を借り、読むことができる図書館。	65,66

さ
行

た
行

用語	解説	頁
統合型校務支援システム	教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)、保健系(健康診断票、保健室来室管理等)、学籍系(指導要録等)、学校事務系など統合した機能を有しているシステム。教員の事務負担軽減に加え、児童生徒と向き合う時間の確保と教育の質的向上が期待される。	61
特定健康診査	40歳から74歳までの人を対象に、医療保険者単位で実施されている内臓脂肪型肥満に着目した健康診査。	37,127,128
特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人に対して専門スタッフ(保健師や管理栄養士など)が行う保健指導。	127,128
特別支援教育	以前は特殊教育の対象でなかったLD(学習障害)、ADHD(多動性障害)、高機能自閉症等を含む全ての障がいのある児童生徒に対して、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。	36,60
ドローン	遠隔操作や自動制御によって飛行する無人航空機。	82
ながさき移住サポートセンター	長崎県への移住を支援するために設置された県と県内全21市町が協働運営する公的団体。就職相談員による仕事のマッチング、住まいや市町の情報提供等、長崎県へのUターン・Iターンのサポートを行っている。	34,98
長崎医療圏病院群輪番制	長崎医療圏(長崎市、西海市、長与町、時津町)の9病院が、休日・夜間の救急患者を交代で受け入れ、救急医療を確保する制度。	134
長崎広域連携中枢都市圏	長崎市、長与町、時津町の1市2町が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を維持し、活力ある社会経済を維持するための拠点形成する取組。	10,28,34,49,50,119
ながよ検定	長与町独自の「検定テキスト(漢字・計算・英語)」を毎年作成し、小・中学生は、このテキストで勉強し、年に数回「ながよ検定」にチャレンジしている。クラス全員で合格を目指すことで、進んで学ぶ姿勢を身につけ、基礎学力の向上に繋がっている。	36,59,60
長与皿山窯跡	時津町と境界を接する山麓に立地し、現況は、細長く傾斜して上がる段々畑の形状をなしている。焚口から窯尻までの水平全長は115mを測り、焼成室は25室ほどと推測されている。波佐見諸窯で確認されている巨大窯に匹敵する規模を持つ。	70
長与町農業支援センター	農業に関する総合的な相談や、効率的で安定した農業経営への支援を行うため、本町に設置された窓口。	31,83
長与焼	主に長与皿山窯跡で焼かれた焼き物を指す。大量生産された日常雑器類の他、三色の釉薬が美しい長与三彩がある。『大村郷村記』に、「寛政4年(1792)に長与村の市次郎という人物が大変珍しい焼き物を焼いたので、褒美として亀二段を与えて田尻焼と名付けた」との記述があり、これが長与三彩を指すものとして考えられている。	70
ニュースポーツ	一般的に、勝ち負けにこだわらず、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめるスポーツのこと。	68
認定こども園	教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の機能を併せ持った施設。	57,58
認定新規就農者	新規就農者のうち、農業経営開始後5年目の目標を示した「青年等就農計画」を市町村に提出し、「地域農業の新たな担い手」として認定された者。認定を受けると、様々な国の支援措置を受けられ、早期の経営安定化を図ることができる。	32,82
認定農業者	意欲的に農業に取り組むために、自ら農業経営改善計画を作成して市町村の認定を受ける農業者。認定により、国の支援策を重点的に受けることができる。	31,32,82
農商工連携	農林漁業者と商工業者が互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄り、新しい商品やサービスの開発・提供、販路拡大などに取り組むもの。	31,83
農地中間管理機構	高齢化や後継者不足などで耕作を続けることが難しくなった農地を借り受け、認定農業者や集落営農組織などの担い手に貸し付ける公的機関。都道府県にひとつずつ設置され、農地の集約化や耕作放棄地の解消を推進する。	82
農福連携	障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保に繋がる可能性もあるとされている。	100,144
ノーマライゼーション	障がいのある人もない人も同じように社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活することができる社会を目指すこと。	142,144
バース	バース(berth)：港内で貨物の積み卸しなどを行うために船舶が停泊する水域を指す。船1隻が作業を行うために占める水域を1バースと呼ぶ。	1,25
ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図。	82,119,120
バリアフリー	障がいのある人が生活する上で妨げとなっている障壁(バリア)を取り除いて住みやすい生活環境を創ること。段差などの物理的障壁のほか社会的・制度的・心理的障壁の除去をいう。	114
PFI	PFI(Private Finance Initiative)：社会資本整備などにおいて設計・建設・維持管理・運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの供給を民間と協働で行う手法。	51
PDCA	計画を立て(Plan)、実行し(Do)、その結果を評価(Check)し、改善する(Action)という一連のプロセスのこと。PDCAサイクルの最大の特徴は一連のプロセスを次の計画に反映させることにある。	28,43,53
PPP	PPP(Public Private Partnership)：官(Public)と民(Private)が連携し、様々なプロジェクトを効率よく実現していく仕組。官から民への考え方に加え、行政・企業・住民間の「役割と責任のパートナーシップの再構築」という観点がある。	51
避難行動要支援個別支援計画	避難行動要支援者一人一人に対する避難支援方策を定めた計画。	38,142

用語	解説	頁
避難行動要支援者避難支援プラン	高齢や障がいなどの理由で災害時に自力避難が困難な「避難行動要支援者」への避難支援の考え方や取組の進め方を取りまとめるとともに、地域における平常時からの避難行動要支援者の把握や支援の仕組を構築することを目的とした計画。	38,119,142
ひばり学級	就学前の子どもを中心に、発達の心配や子育ての困りごとに対し、相談・発達支援を行う本町の機関。	57
病児・病後児保育	児童が病気又はその回復期にあって集団保育が困難な状況にあり、保護者の労働などにより家庭で保育ができない場合に、一時的に保育を行う施設。	35,137
ファミリーサポートセンター	育児の相互援助活動を行う会員組織。子育ての手助けをしてほしい人と手助けをしたい人がともに会員となり、お互いに助け合う。	35,49,137
ファミリープログラム	参加者同士が、あるテーマについてコミュニケーションを交わすことによって互いに学び合う、参加型の学習プログラム。	35,36,57,58,64
フッ化物応用	フッ化物を歯に作用させて、歯質の虫歯抵抗力(耐酸性の向上、結晶性の向上、再石灰化の促進、抗菌・抗酸化作用)を高め、虫歯を予防する方法。	129
ブックスタート事業	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心触れ合うひとときを持つきっかけを作るため、0歳児健診などで、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットで提供する事業。本町では3~4か月児健診時に実施している。	35,57,58
ふるさとキャリア教育	ふるさとへの愛着心を育成する「ふるさと教育」と、社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育成する「キャリア教育」を複合した教育。	32,36,61
ふれあい農園	本町に6か所設置している市民農園。市民農園とは、都市住民がレクリエーション目的で小面積の農地を利用して野菜や花を栽培する農園。	83
フレイル	「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す“frailty”の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語。要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。	26,37,127,128,139
放課後児童クラブ	保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校の休業日に児童館や保育所、学校の余裕教室などを利用して、遊びや生活の場を与えて適切な指導を行い、健全な育成を図るもの。	35,135,137
包括的民間委託	受託した民間事業者が創意工夫やノウハウの活用により効率的・効果的に運営できるよう、複数の業務や施設を包括的に委託すること。	110
ほっとミーティング	町長が地域に出向いて、地域住民の皆様や団体の皆様と一緒に、長与町をより良くするためのまちづくりのアイデアなどを語り合う場。	50
ほほえみの家	平成18年4月に町内に開所した障がい者複合施設。「ひばり学級」や「子育て支援センターおひさまひろば」を併設。作業・活動の場としてだけでなく、町内の全ての障がい児・者、子育て中の皆様が気軽に集え、情報交換ができる場となることを目指す。	143
MaaS	MaaS(Mobility as a Service)：電車やバス、飛行機など複数の交通手段を乗り継いで移動する際、スマートフォン等から検索~予約~支払を一度に行えるように改めて、ユーザーの利便性を大幅に高めたり、また移動の効率化により都市部での交通渋滞や環境問題、地方での交通弱者対策などの問題の解決に役立てようとする考え方に基づいたサービス。	33,34,113,114
MICE	企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントを総称したものを。	1,25
ミッコンポイント事業	町民の運動習慣の定着を図るための健康づくり事業。運動習慣づくりのきっかけとして、町が貸し出した歩数計を持って歩く、定期的な体組成の測定、健診結果の提出、健康イベントへの参加でポイントが付与され、ポイントは商品券等の商品と交換ができる。	38,128
メタボリックシンドローム	内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態。	128
UIターン	Uターン、Iターンの総称。Uターンとは、出身地から進学や就職のため地域外の都会に出た後、出身地に戻ることを。Iターンとは出身地にかかわらず、住みたい地域を選択し移り住むこと。	31,82
ユニバーサルデザイン	年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、当初からできるだけ多くの人が利用しやすいように製品・建物・空間をデザインすること。	38,103,105
リスクマネジメント	リスクを組織的に管理(マネジメント)し、損失等の回避又は低減を図るプロセス。	61
レセプト	診断報酬明細書。医療機関が保険診療に要した費用を保険者に請求するための請求明細書。	146
6次産業化	農林漁業・農山漁村と2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等を融合・連携させ、事業の総合的かつ一体的な推進を図ることで、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。	31,83,88
ワークショップ	地域の様々な立場の人々が参加し、コミュニティの諸課題を協力して解決したり、各種の共同作業を通じて計画づくりなどを進めていく手法。	13,17,44
ワーク・ライフ・バランス	「仕事と生活の調和」の意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えること。	35,77,137